

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●ジャパンカップはイクイノックスが優勝

11月26日(日)に行われたジャパンカップ(G I)では、イクイノックス(牡4歳/美浦・木村哲也厩舎)が同レース初優勝を果たすと同時に国内外G I出走機会6連勝を達成しました。1984年のグレード制導入以降、G I・6連勝はテイムオペラオー、ロードカナロアと並ぶ史上最多タイ記録。またイクイノックスの総獲得賞金は2億1544万6100円となり、アーモンドアイの19億1526万3900円を抜いて歴代1位となりました。

### ●寺島良調教師が通算200勝、清水久詞調教師が通算400勝を達成

11月25日(土)の3回京都7日・第9レースとして行われた高雄特別ではゴールドプリンセスが1着となり、同馬を管理する寺島良調教師(栗東)は、現役108人目となるJRA通算200勝(延べ2331頭目)を達成しました。また翌26日(日)の3回京都8日・第5レースではマイネルエンペラーが1着となり、同馬を管理する清水久詞調教師(栗東)は、現役39人目となるJRA通算400勝(延べ4951頭目)を達成しました。

### ●川田将雅騎手が香港の国際騎手招待競走に出場

12月6日(水)に香港・ハッピーバレー競馬場で行われる「2023ロンジン・インターナショナル・ジョッキーズ・チャンピオンシップ」に川田将雅騎手(栗東・フリー)が出場することとなりました。同シリーズでは世界各国から集まった12名の騎手が4レース(ナイター)に騎乗し、成績を競い合います。

### ●日本馬14頭が香港国際競走出走へ

12月10日(日)に香港・シャティン競馬場で行われる香港国際競走(いずれもG I)に日本馬14頭が選出され、招待を受諾しました。香港ヴァーズにはジェラルディーナ、シャフリヤール、ゼッフィーロ、レーベンスティール、香港スプリントにはジャスパークローネ、マッドクール、香港マイルにはセリフォス、ソウルラッシュ、ダノンザキッド、ディヴィーナ、ナムジュール、香港カップにはヒシイグアス、プログノーシス、ローシャムパークが出走する予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ライオットガールがクイーン賞(船橋)で2度目の重賞制覇

クイーン賞(Jpn III、11月29日、船橋、1800<sup>円</sup>)は、3~4番手を進んだ3番人気のライオットガール(岩田望来騎手、牝3歳、父シニスターミニスター)が、途中から先頭に立った1番人気の昨年の覇者テリオスベルを残り150<sup>円</sup>で捉えて2馬身半差を付け、レパードSに次ぐ重賞制覇。逃げた2番人気のバライバトルマリンが3着に入り、ピジンは10着でした。

### ●ネクストスター高知はプリフロオールイン【各地の主要2歳重賞】

新設のネクストスター高知(10月29日、高知、1400<sup>円</sup>)は、2番手から3コーナー手前で前を捉えた単勝1.3倍で圧倒的人気のプリフロオールイン(牡、父アニマルキングダム)が4馬身差で圧勝。金沢シンデレラC(10月22日、金沢、1500<sup>円</sup>、牝馬)は、5番手追走から3、4コーナー中間で抜け出した単勝1.5倍で1番人気の北海道所属馬シトラルテミニ(父インカンテーション)が重賞初制覇を果たしました。カベラ賞(10月22日、佐賀、1800<sup>円</sup>)は、5番手から差を詰めた単勝1.5倍で断然人気のネクストスター佐賀の覇者ウルトラノホシ(牡、父ホッコータルマエ)が2周目4コーナー手前で先頭に立って3馬身差で楽勝。平和賞(10月25日、船橋、1600<sup>円</sup>)は、逃げた1番人気の北海道からの遠征馬カプセル(牡、父マジスティックウォリアー)が直線で一旦は交されながらも差し返しました。プリンセスC(10月29日、盛岡、1400<sup>円</sup>、牝馬)は、4番手を進んだ北海道所属のコモリリーガル(父バトルプラン)が残り200<sup>円</sup>標識の手前で差し切り、単勝1.3倍の支持に応じて園田プリンセスCに続く重賞2連勝を果たしています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●2頭の繁殖牝馬がアイルランドのセール最高価格で落札

現地11月24日と25日にアイルランドで行われたゴフス11月ブリーディングストックセールで、2頭の繁殖牝馬が2013年の同セールで取引された愛オークス馬チキータ(父モンジュウ、当時3歳)と並んでアイルランドのセールにおける史上最高価格となる600万<sup>円</sup>(9億5400万円/1<sup>円</sup>=159円で換算)でクールモアのMV. マグニア氏に落札されました。歴史的な高値となったのは、ともにニアルコス家が生産し、所有していたジャックルマロウ賞、愛1000ギニーなどG I・4勝のアルファセントリー(牝8歳、父マスタークラフツマン、シーザスターズを受胎)と、G IコロネーションSの勝ち馬アルバインスター(牝6、父シーザムーン、フランケルを受胎)。2頭とも曾祖母はニアルコス家の自家生産馬で、BCマイル連覇などG Iを10勝したミエスクです。